

当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／海外／債券
信託期間	2027年5月14日まで（2017年8月30日設定）
運用方針	<p>豪ドル建ての国債、政府機関債、州政府債、社債、資産担保証券（ABS）、モーゲージ証券（MBS）、国際機関債等に分散投資を行います。ブルームバーグオーストラリア債券（総合）インデックス（0-3年、円換算ベース）をベンチマークとします。</p> <p>ポートフォリオの平均格付は原則としてAA-格相当以上を維持することとし、投資する公社債は原則として取得時においてA-格相当以上の格付を取得しているものに限ります。</p> <p>ポートフォリオの平均デュレーションは原則としてベンチマーク±1年以内の範囲で調整します。なお、デュレーション調整等のため、債券先物取引等を利用する場合があります。公社債の実質投資比率は、100%を超えることがあります。</p> <p>組入外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行いません。</p> <p>運用指図に関する権限は、UBSアセット・マネジメント（オーストラリア）リミテッドに委託します。</p>
主要運用対象	豪ドル建ての公社債を主要投資対象とします。
主な組入制限	外貨建資産への投資割合に制限を設けません。
分配方針	<p>経費等控除後の利子等収益および売買益（評価益を含みます。）等の全額を分配対象額とし、分配金額は、基準価額水準、市況動向等を勘案して委託会社が決定します。ただし、分配対象収益が少額の場合には分配を行わないことがあります。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>分配金額の決定にあたっては、信託財産の成長を優先し、原則として分配を抑制する方針とします。（基準価額水準や市況動向等により変更する場合があります。）</p> </div>

※当ファンドは、課税上、株式投資信託として取り扱われます。
 ※公募株式投資信託は税法上、「NISA（少額投資非課税制度）およびジュニアNISA（未成年者少額投資非課税制度）」の適用対象です。
 詳しくは販売会社にお問い合わせください。

運用報告書（全体版）

豪ドル年1回決算型ファンド

第1期（決算日：2018年5月15日）

受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます。
 さて、お手持ちの「豪ドル年1回決算型ファンド」は、去る5月15日に第1期の決算を行いました。ここに謹んで運用状況をご報告申し上げます。
 今後とも引き続きお引き立て賜りますようお願い申し上げます。



三菱UFJ国際投信

東京都千代田区有楽町一丁目12番1号
 ホームページ <https://www.am.mufg.jp/>

当運用報告書に関するお問い合わせ先

お客様専用
 フリーダイヤル **0120-151034**
 （受付時間：営業日の9:00～17:00、
 土・日・祝日・12月31日～1月3日を除く）

お客様の取引内容につきましては、お取扱いの販売会社にお尋ねください。

本資料の表記にあたって

- ・原則として、各表の数量、金額の単位未満は切捨て、比率は四捨五入で表記しておりますので、表中の個々の数字の合計が合計欄の値とは一致しないことがあります。ただし、単位未満の数値については小数を表記する場合があります。
- ・一印は組入れまたは売買がないことを示しています。

○設定以来の運用実績

決算期	基準価額			ブルームバーグオーストラリア債券 (総合)インデックス (0-3年、円換算ベース)	期中 騰落率	債券 組入比率	債券 先物比率	金利 先物比率	純資産 総額
	(分配落)	税込 分配	み 金						
(設定日)	円	円	%		%	%	%	%	百万円
2017年8月30日	10,000	—	—	523,338.43	—	—	—	—	1,950
1期(2018年5月15日)	9,509	0	△4.9	501,349.91	△4.2	90.7	15.4	—	5,375

(注) 設定日の基準価額は、設定時の価額です。

(注) ブルームバーグオーストラリア債券(総合)インデックス(0-3年)とは、オーストラリアの債券市場の値動き(豪ドルベース)を表す指数で、残存期間が3年以内の銘柄で構成されています。ブルームバーグオーストラリア債券(総合)インデックス(0-3年、円換算ベース)は、ブルームバーグオーストラリア債券(総合)インデックス(0-3年)をもとに、委託会社が計算したものです。

(注) 外国の指数は、基準価額への反映に合わせて前営業日の値を使用しております。

(注) 「債券先物比率」、「金利先物比率」は買建比率-売建比率。

(注) 設定日の純資産総額は、設定元本を表示しております。

○当期中の基準価額と市況等の推移

年月日	基準価額		ブルームバーグオーストラリア債券 (総合)インデックス (0-3年、円換算ベース)	期中 騰落率	債券 組入比率	債券 先物比率	金利 先物比率
	騰落率	騰落率					
(設定日)	円	%		%	%	%	%
2017年8月30日	10,000	—	523,338.43	—	—	—	—
8月末	9,989	△0.1	522,780.93	△0.1	91.6	—	—
9月末	10,101	1.0	529,048.55	1.1	96.6	3.4	—
10月末	9,959	△0.4	522,030.84	△0.2	93.3	2.6	—
11月末	9,742	△2.6	511,151.50	△2.3	94.7	—	—
12月末	10,091	0.9	529,902.37	1.3	88.3	8.5	—
2018年1月末	10,055	0.6	528,749.13	1.0	96.5	4.2	—
2月末	9,612	△3.9	505,593.80	△3.4	91.9	7.0	—
3月末	9,380	△6.2	493,793.36	△5.6	95.5	9.4	—
4月末	9,480	△5.2	499,549.65	△4.5	93.3	15.8	—
(期末)							
2018年5月15日	9,509	△4.9	501,349.91	△4.2	90.7	15.4	—

(注) 設定日の基準価額は、設定時の価額です。

(注) 騰落率は設定日比。

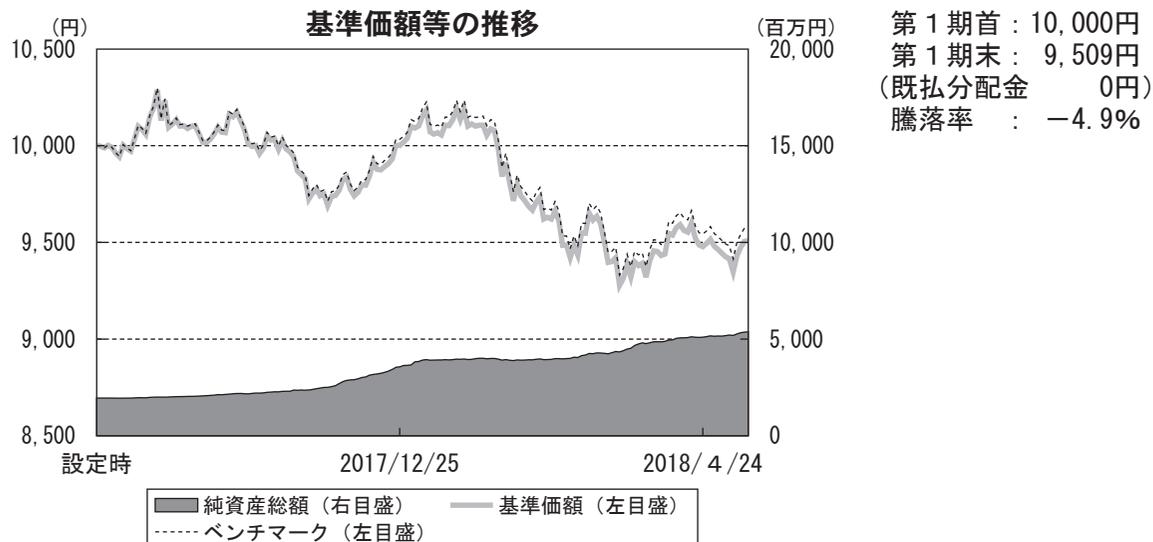
(注) 「債券先物比率」、「金利先物比率」は買建比率-売建比率。

運用経過

当期中の基準価額等の推移について

(第1期：2017/8/30～2018/5/15)

基準価額の動き	基準価額は設定時に比べ4.9%の下落となりました。
ベンチマークとの差異	ファンドの騰落率は、ベンチマークの騰落率（-4.2%）を0.7%下回りました。



- ・ 分配金再投資基準価額は、分配金が支払われた場合、収益分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンドの運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

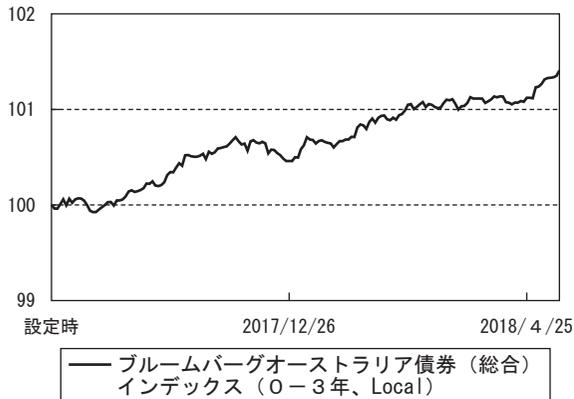


実際のファンドにおいては、分配金を再投資するかどうかについては、受益者のみなさまがご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入金額により課税条件も異なります。従って、各個人の受益者のみなさまの損益の状況を示すものではない点にご留意ください。

基準価額の主な変動要因

上昇要因	豪州債券市況が上昇したことは基準価額にプラスに寄与しました。
下落要因	豪ドルが対円で下落したことや信託報酬等は基準価額にマイナスに影響しました。

投資環境について

債券市況の推移
(設定時を100として指数化)

(第1期：2017/8/30～2018/5/15)

◎債券市況

- ・設定時から2017年12月中旬にかけては、7-9月の豪消費者物価指数（CPI）が市場予想を下回ったことや、11月の豪州連邦準備銀行（RBA）の政策決定会合の議事録でより長期にわたって低金利が続く可能性が示唆されたこと等を受けて、豪州債券利回りが低下し、豪州債券市況は上昇しました。
- ・12月中旬から期末にかけては、米国で税制改革法案が可決されたこと等を受けて主要先進国で金利が上昇したこと等がマイナスとなったものの、米トランプ大統領が鉄鋼・アルミニウム輸入に関税を課す方針を表明したことや、中国製品を対象とした大規模な関税賦課を命じたこと等から、投資家のリスク回避姿勢が強まったこと等がプラスとなり、豪州債券市況は上昇しました。

為替市況の推移 (設定時を100として指数化)



◎為替市況

- ・ 設定時から2018年1月末にかけては、強弱材料が交錯し、豪ドルは対円で概ね横ばいとなりました。
- ・ 1月末から3月末にかけては、2月上旬に米国をはじめ株価が下落したことや米国の保護主義的な通商政策等を受け投資家のリスク回避姿勢が強まり、豪ドルは対円で下落しました。
- ・ 3月末から期末にかけては、世界貿易を巡る懸念が後退したことや資源価格の上昇等を受け、豪ドルは対円で底堅く推移しました。
- ・ 期を通じて見ると、豪ドルは対円で下落しました。

当該投資信託のポートフォリオについて

i 期間中にどのような運用をしたかを確認できます。

◎組入比率

- ・ 当期を通じて現物債券の組入比率は概ね88～97%近辺で推移させ、期末は90.7%としました。なお、先物を含めた実質債券組入比率は期末では106.1%としています。

◎デュレーション（平均回収期間や金利感応度）

- ・ 設定時はデュレーションをベンチマーク並みの水準としていましたが、金利が上昇したことを受けて2017年9月にベンチマークに対し小幅ながら長めの水準としました。その後金利が低下したことを受けて10月にベンチマーク並みの水準とし、12月中旬まで同水準を維持しました。12月中旬から2018年1月にかけて、金利が低下したことを受けてベンチマークに対し短めの水準としました。1月に金利が上昇したことを受けてベンチマーク並みの水準とし、4月下旬まで同水準で維持しました。4月下旬から期末にかけて、金利が上昇したことを受けてベンチマークに対し長めの水準としました。

◎イールドカーブ

- ・ 当期を通じて、長短金利差が縮小することを見込んだ戦略を維持しました。

◎債券種別

- ・ 債券種別配分については、期を通じて、ベンチマークに対し、国債をアンダーウェイトとする一方、相対的な利回りの高さを享受するため、社債（事業債など）をオーバーウェイトとしました。

当該投資信託のベンチマークとの差異について

i ベンチマークまたは参考指数と比較することで、期間中の運用内容を評価することができます。

当期の基準価額騰落率は、4.9%の下落となり、ベンチマークであるブルームバーグオーストラリア債券（総合）インデックス（0-3年、円換算ベース）の4.2%の下落を0.7%下回りました。信託報酬等のコストがマイナスに影響したことによるものです。

（プラス要因）

◎イールドカーブ

- ・当期を通じて見ると、イールドカーブ戦略はプラスに寄与しました。

◎デュレーション

- ・当期を通じて見ると、金利低下局面において利益を確定したことで、デュレーション戦略はプラスに寄与しました。

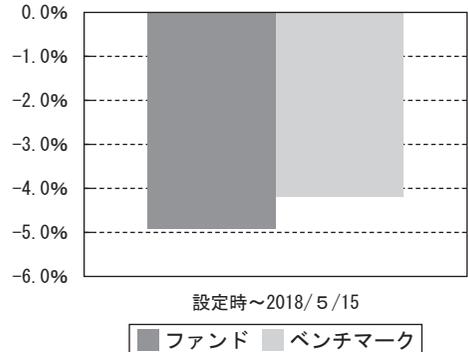
（マイナス要因）

◎債券種別

- ・当期を通じて見ると、セクター配分戦略はマイナスに影響しました。

◎信託報酬等

基準価額とベンチマークの対比（騰落率）



分配金について

i 分配金の内訳および翌期繰越分配対象額（翌期に繰越す分配原資）がどの程度あるかを確認できます。

収益分配金につきましては、基準価額水準、市況動向、分配対象額的水準等を勘案し、次表の通りとさせていただきます。収益分配に充てなかった利益（留保益）につきましては、信託財産中に留保し、運用の基本方針に基づいて運用します。

【分配原資の内訳】 (単位：円、1万口当たり、税込み)

項目	第1期
	2017年8月30日～2018年5月15日
当期分配金	—
（対基準価額比率）	—%
当期の収益	—
当期の収益以外	—
翌期繰越分配対象額	138

(注) 対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

(注) 当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

今後の運用方針 (作成対象期間末での見解です。)

◎運用環境の見通し

- ・世界経済の景気拡大局面は継続しており、需給ギャップは徐々に縮小しつつあります。金融政策については、米連邦準備制度理事会（FRB）が2018年3月に利上げを実施するとともに年内の追加利上げを示唆しましたが、大半の中央銀行は慎重な姿勢で金融緩和の正常化を図っており、緩和的な金融環境が継続しています。また、米中貿易摩擦を巡る懸念に加え、中東情勢の緊迫化など、地政学リスクが再燃する局面も見られます。豪州では、5月1日のRBA理事会で政策金利の据え置きが決定されました。RBAは2018年の後半までは政策金利の変更を実施しないと予想します。米国ではFRBのパウエル新議長のもとで金融正常化の動きが進行しています。米国の政策金利については、2018年は3回の利上げが実施されると見えています。

◎今後の運用方針

(金利)

- ・デュレーションについては、ベンチマークに対し長めの水準としています。イールドカーブについては、長短金利差が縮小することを見込んだ戦略を継続する方針です。
- (種別構成)
- ・相対的に利回りが高いことなどから、社債をオーバーウェイト、国債をアンダーウェイトとします。今後も信用スプレッド（信用力格差による国債に対する上乗せ金利）水準を考慮しながら種別の組入比率を調整する方針です。新規発行銘柄については、割安と判断される場合には積極的に組み入れを検討します。

○ 1万口当たりの費用明細

(2017年8月30日～2018年5月15日)

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 信 託 報 酬	円	%	(a) 信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率× (期中の日数÷年間日数)
(投 信 会 社)	(42)	(0.425)	ファンドの運用・調査、受託会社への運用指図、基準価額の算出、目論見書等の作成等の対価
(販 売 会 社)	(38)	(0.386)	交付運用報告書等各種書類の送付、顧客口座の管理、購入後の情報提供等の対価
(受 託 会 社)	(4)	(0.039)	ファンドの財産の保管および管理、委託会社からの運用指図の実行等の対価
(b) 売 買 委 託 手 数 料	0	0.002	(b) 売買委託手数料＝期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権口数
(先 物 ・ オ プ シ ョ ン)	(0)	(0.002)	有価証券等の売買時に取引した証券会社等に支払われる手数料
(c) そ の 他 費 用	2	0.025	(c) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
(保 管 費 用)	(2)	(0.022)	有価証券等を海外で保管する場合、海外の保管機関に支払われる費用
(監 査 費 用)	(0)	(0.003)	ファンドの決算時等に監査法人から監査を受けるための費用
(そ の 他)	(0)	(0.001)	信託事務の処理等に要するその他諸費用
合 計	85	0.877	
期中の平均基準価額は、9,823円です。			

(注) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

○売買及び取引の状況

(2017年8月30日～2018年5月15日)

公社債

			買付額	売付額
			千オーストラリアドル	千オーストラリアドル
外国	オーストラリア	国債証券	12,800	3,438
		地方債証券	525	—
		特殊債証券	27,082	2,439
		社債券	31,351	3,027
				(3,500)

(注) 金額は受渡代金。(経過利子分は含まれておりません。)

(注) ()内は償還等による増減分で、上段の数字には含まれておりません。

(注) 社債券には新株予約権付社債(転換社債)は含まれておりません。

先物取引の種類別取引状況

種 類 別		買 建		売 建	
		新規買付額	決 済 額	新規売付額	決 済 額
外国		百万円	百万円	百万円	百万円
	債券先物取引	2,138	1,300	45	44

(注) 外国の取引金額は、各月末(決算日の属する月の月初から決算日までの分については決算日)の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算した金額の合計です。

○利害関係人との取引状況等

(2017年8月30日～2018年5月15日)

利害関係人との取引状況

区 分	買付額等 A	うち利害関係人 との取引状況B	$\frac{B}{A}$	売付額等 C	うち利害関係人 との取引状況D	$\frac{D}{C}$
為替直物取引	百万円 5,539	百万円 2,709	% 48.9	百万円 —	百万円 —	% —

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人であり、当ファンドに係る利害関係人とは三菱UFJ銀行、三菱UFJ信託銀行です。

○自社による当ファンドの設定・解約状況

(2017年8月30日～2018年5月15日)

設定時残高(元本)	当期設定元本	当期解約元本	期末残高(元本)	取引の理由
百万円	百万円	百万円	百万円	
1,950	—	—	1,950	当初設定時における取得

○組入資産の明細

(2018年5月15日現在)

外国公社債

(A) 外国(外貨建)公社債 種類別開示

区 分	当 期 末							
	額面金額	評 価 額		組入比率	うちBB格以下 組入比率	残存期間別組入比率		
		外貨建金額	邦貨換算金額			5年以上	2年以上	2年未満
	千オーストラリアドル	千オーストラリアドル	千円	%	%	%	%	%
オーストラリア	57,716	58,967	4,874,819	90.7	—	—	39.3	51.4
合 計	57,716	58,967	4,874,819	90.7	—	—	39.3	51.4

(注) 邦貨換算金額は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

(注) 組入比率は、純資産総額に対する評価額の割合。

(注) 評価については金融商品取引業者、価格情報会社等よりデータを入手しています。

(B) 外国(外貨建)公社債 銘柄別開示

銘 柄	当 期 末						償還年月日
	利 率	額面金額	評 価 額		債 権 年 月 日		
			外貨建金額	邦貨換算金額			
オーストラリア	%	千オーストラリアドル	千オーストラリアドル	千円			
国債証券	4.5 AUST GOVT 200415	4.5	3,900	4,082	337,504	2020/4/15	
	5.25 AUST GOVT 190315	5.25	1,600	1,644	135,979	2019/3/15	
	5.75 AUST GOVT 210515	5.75	3,200	3,532	292,047	2021/5/15	
地方債証券	4.25 AUST CAPITAL 200522	4.25	500	519	42,971	2020/5/22	
特殊債券	1.75 VICTORIA 210727	1.75	1,000	982	81,217	2021/7/27	
	2.4 KFW 200702	2.4	4,000	4,008	331,345	2020/7/2	
	2.5 EUROPEAN INVE 200430	2.5	500	502	41,540	2020/4/30	
	2.5 WEST AUST TRE 200722	2.5	3,500	3,520	291,022	2020/7/22	
	2.75 KFW 200416	2.75	500	504	41,704	2020/4/16	
	3.25 EXP DEVE CAN 180522	3.25	500	500	41,347	2018/5/22	
	3.5 ASIAN DEVELOP 190522	3.5	500	507	41,928	2019/5/22	
	3.5 IBRD 190429	3.5	2,000	2,027	167,623	2019/4/29	
	3.5 KOMMUNALBANKE 180530	3.5	500	500	41,364	2018/5/30	
	3.5 NEWSWALES 190320	3.5	500	506	41,890	2019/3/20	
	3.75 WEST AUST TR 181023	3.75	1,000	1,007	83,323	2018/10/23	
	4 QUEENSLAND 190621	4.0	3,500	3,576	295,686	2019/6/21	
	4.75 NORTHERN TR 180920	4.75	1,300	1,312	108,528	2018/9/20	
	5 AUSTRALIAN POST 201113	5.0	500	526	43,537	2020/11/13	
	6 EXPORT FIN & IN 201112	6.0	550	597	49,406	2020/11/12	
	6 QUEENSLAND 210614	6.0	630	700	57,926	2021/6/14	
	6 TASMANIAN PUBLI 200615	6.0	1,000	1,077	89,063	2020/6/15	
6.25 QUEENSLAND 190614	6.25	536	560	46,373	2019/6/14		
6.5 INTER-AMERICA 190820	6.5	1,000	1,054	87,178	2019/8/20		
FRN AUSTRALIAN PO 211201	2.795	500	503	41,623	2021/12/1		
普通社債券	2.6 COCA-COLA CO/ 200609	2.6	1,000	1,003	82,952	2020/6/9	
	2.65 APPLE INC 200610	2.65	500	501	41,466	2020/6/10	
	2.75 COMMONWEALT 211117	2.75	500	497	41,128	2021/11/17	

銘柄	銘柄	当 期 末				償還年月日	
		利 率	額面金額	評 価 額			
				外貨建金額	邦貨換算金額		
オーストラリア		%	千オーストラリアドル	千オーストラリアドル	千円		
	普通社債券	2.75 ROYAL BANK O 180807	2.75	500	500	41,388	2018/8/7
		2.75 TOYOTA MOTOR 210726	2.75	500	500	41,336	2021/7/26
		2.9 COMMONWEALT 210712	2.9	500	499	41,298	2021/7/12
		3 BHP BILLITON FI 200330	3.0	500	504	41,713	2020/3/30
		3.1 LLOYDS BANK P 180828	3.1	500	501	41,432	2018/8/28
		3.1 WESTPAC BAN 210603	3.1	1,500	1,509	124,791	2021/6/3
		3.25 AUST & NZ B 200603	3.25	500	506	41,856	2020/6/3
		3.25 MACQUARIE BA 200303	3.25	1,000	1,011	83,592	2020/3/3
		3.25 OPTUS FINAN 220823	3.25	500	504	41,714	2022/8/23
		3.75 AUST & NZ BA 190725	3.75	500	507	41,993	2019/7/25
		4 WELLS FARGO & C 190808	4.0	1,000	1,018	84,182	2019/8/8
		4.1 JPMORGAN 180517	4.1	500	500	41,341	2018/5/17
		4.5 BARCLAYS B 190404	4.5	1,000	1,018	84,217	2019/4/4
		4.5 FONTERRA COOP 210630	4.5	1,000	1,046	86,538	2021/6/30
		4.5 SVENSKA HANDE 190410	4.5	500	509	42,138	2019/4/10
		4.75 OPTUS FIN 181212	4.75	500	506	41,905	2018/12/12
		5 QIC SHOPPING CE 180725	5.0	1,000	1,005	83,090	2018/7/25
		5.5 STOCKLAND TRU 190906	5.5	500	517	42,804	2019/9/6
		5.75 DEXUS FINAN 180910	5.75	500	505	41,754	2018/9/10
		FRN AMP BANK LIM 180606	2.715	500	500	41,345	2018/6/6
		FRN AMP BANK LIM 201006	2.79	500	499	41,295	2020/10/6
		FRN BANK OF AM 181105	3.095	500	501	41,484	2018/11/5
		FRN COLONIAL HOLD 200120	3.265	500	500	41,407	2020/1/20
		FRN COMMONWEALT 211117	2.615	500	505	41,777	2021/11/17
		FRN OCBC/SYDNEY 181112	2.775	1,000	1,002	82,883	2018/11/12
		FRN RABOBANK NEDE 180925	3.13	1,000	1,003	82,929	2018/9/25
		FRN SUNCORP-METWA 190423	3.165	1,000	1,005	83,140	2019/4/23
		FRN SVENSKA HANDE 190410	2.99	1,000	1,004	83,064	2019/4/10
		FRN TELSTRA COR 210419	2.89	1,000	1,005	83,087	2021/4/19
		FRN UNITED ENERGY 230207	2.965	1,000	1,002	82,867	2023/2/7
		FRN UNITED OVERSE 180911	2.555	1,000	1,001	82,760	2018/9/11
	合 計					4,874,819	

(注) 邦貨換算金額は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

先物取引の銘柄別期末残高

銘柄	銘柄	別	当 期 末	
			買 建 額	売 建 額
外国	債券先物取引	AUST3Y	百万円 825	百万円 -

(注) 邦貨換算金額は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

○投資信託財産の構成

(2018年5月15日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
公社債	千円 4,874,819	% 90.2
コール・ローン等、その他	529,948	9.8
投資信託財産総額	5,404,767	100.0

(注) 期末における外貨建純資産 (5,297,081千円) の投資信託財産総額 (5,404,767千円) に対する比率は98.0%です。

(注) 外貨建資産は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。なお、期末における邦貨換算レートは以下の通りです。

1 オーストラリアドル=82.67円		
--------------------	--	--

○資産、負債、元本及び基準価額の状況 (2018年5月15日現在)

項 目	当 期 末
	円
(A) 資産	5,503,553,229
コール・ローン等	478,789,642
公社債(評価額)	4,874,819,328
未収入金	100,364,790
未収利息	31,539,043
前払費用	7,139,679
差入委託証拠金	10,900,747
(B) 負債	128,076,883
未払金	99,030,600
未払信託報酬	28,951,483
未払利息	143
その他未払費用	94,657
(C) 純資産総額(A-B)	5,375,476,346
元本	5,653,174,264
次期繰越損益金	△ 277,697,918
(D) 受益権総口数	5,653,174,264口
1万口当たり基準価額(C/D)	9,509円

<注記事項>

- ①設定元本額 1,950,000,000円
 期中追加設定元本額 3,836,433,068円
 期中一部解約元本額 133,258,804円
 また、1口当たり純資産額は、期末0.9509円です。

②純資産総額が元本額を下回っており、その差額は277,697,918円です。

③分配金の計算過程

項 目	2017年8月30日～ 2018年5月15日
費用控除後の配当等収益額	47,264,297円
費用控除後・繰越欠損金補填後の有価証券売買等損益額	－円
収益調整金額	30,915,177円
分配準備積立金額	－円
当ファンドの分配対象収益額	78,179,474円
1万口当たり収益分配対象額	138円
1万口当たり分配金額	－円
収益分配金金額	－円

④信託財産の運用の指図に係る権限の全部または一部を委託するために要する費用として、信託財産の純資産総額に対し年10,000分の25以内の率を乗じて得た額を委託者報酬の中から支弁しております。

○損益の状況 (2017年8月30日～2018年5月15日)

項 目	当 期
	円
(A) 配当等収益	77,081,386
受取利息	77,843,597
支払利息	△ 762,211
(B) 有価証券売買損益	△222,802,074
売買益	373,295
売買損	△223,175,369
(C) 先物取引等取引損益	1,665,591
取引益	3,362,504
取引損	△ 1,696,913
(D) 信託報酬等	△ 29,817,089
(E) 当期損益金(A+B+C+D)	△173,872,186
(F) 追加信託差損益金	△103,825,732
(配当等相当額)	(30,915,177)
(売買損益相当額)	(△134,740,909)
(G) 計(E+F)	△277,697,918
(H) 収益分配金	0
次期繰越損益金(G+H)	△277,697,918
追加信託差損益金	△103,825,732
(配当等相当額)	(30,915,177)
(売買損益相当額)	(△134,740,909)
分配準備積立金	47,264,297
繰越損益金	△221,136,483

(注) (B)有価証券売買損益および(C)先物取引等取引損益は期末の評価換えによるものを含みます。

(注) (D)信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

(注) (F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

*三菱UFJ国際投信では本資料のほかに当ファンドに関する情報等の開示を行っている場合があります。詳しくは、取り扱い販売会社にお問い合わせいただくか、当社ホームページ (<https://www.am.mufg.jp/>) をご覧ください。

【お 知 ら せ】

- ①当社ホームページアドレス変更に伴う記載変更を行うため電子公告のアドレスを変更し、信託約款に所要の変更を行いました。
(変更前(旧) <http://www.am.mufg.jp/> → 変更後(新) <https://www.am.mufg.jp/>)
(2018年1月1日)
- ②2014年1月1日から、2037年12月31日までの間、普通分配金並びに解約時又は償還時の差益に対し、所得税15%に2.1%の率を乗じた復興特別所得税が付加され、20.315% (所得税15%、復興特別所得税0.315%、地方税5% (法人受益者は15.315%の源泉徴収が行われます。)) の税率が適用されます。